

日本語指導教室【慣れる～使う】	お気に入りの本を「本はともだちブック」にかこう ～デジタル絵本を読む～
タブレット使用形態：一人一台	全学年 国語科 「本はともだち」
【使用したアプリケーション】	Google 「翻訳」 Zoom 「オンラインミーティング」 デジタル絵本視聴サイト 「絵本のひろば」「福娘童話集」

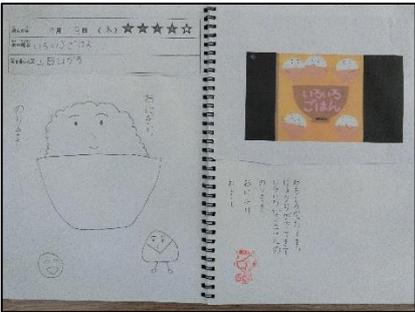
学習展開	ICT使用手順・留意事項
<p>1 日本語教室①と日本語教室②をオンラインでつなぎ、おすすめの本を紹介する。</p> 	<p>○ 発表する児童のお気に入りのページをスキャンしてPowerPointでまとめておく。</p> <p>○ 同じ出身国、同じ言語、日本語力が同等の者とミーティングを行い、普段交流していない児童との交流を深め、読書活動への意欲を高める。</p> <p>○ 紹介された本の中の言葉を母語に置き換え、日本語と母語との関係に目を向けさせる。</p> <p>活用ポイント <u>Google「翻訳」</u> 日本語の単語を母語でどのように発音するか調べ、単語の意味を理解させる。</p>
<p>2 各自で読書をする。</p> 	<p>活用ポイント <u>デジタル絵本視聴サイト</u> 各自の日本語力に合わせた本を選ばせたり、各自のスピードで読ませたりする。日本語を読むことが難しい児童には、音声付きの絵本を聞き読みさせる。 『絵本のひろば』 https://ehon.alphapolis.co.jp/ 『福娘童話集』 http://hukumusume.com/douwa/index.html</p>
<p>3 日本語が分からなかった時に、通訳ボランティアに聞く。</p> 	<p>○ 自分の日本語力に合っていないと感じた時は、読んでいる途中でも本を変えてもよいことを伝えておく。</p> <p>活用ポイント <u>Zoom「オンラインミーティング」</u> 絵本の中の言葉が分からない時や、自分の感想を日本語でまとめる時に、通訳ボランティアに支援してもらう。</p>
<p>4 今日のお気に入りの本を一冊決めて、読書記録をかく。</p>	<p>○ 本の気に入ったページを印刷し、ノートに貼らせる。</p>

成果と課題

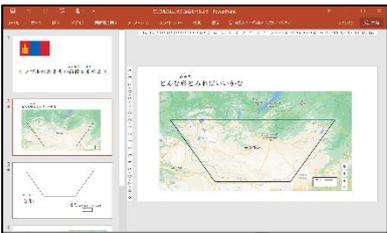
○どの児童も日本語の本を読むことに興味をもち、授業後も読みたいと話すようになった。

▲日本語の文字を読むことが難しい児童は、なかなか読み進めることができず、一時間に一冊しか読めない様子が見られた。個々に合わせた本を用意しておくことが大切である。

日本語指導教室【慣れる～使う】	お気に入りの本や好きな場面を探そう ～オンラインミーティングで交流～
タブレット使用形態：一人一台	全学年 国語科 「本は友だち」
【使用したアプリケーション】	Zoom 「オンラインミーティング」 デジタル絵本視聴サイト 「絵本のひろば」「福娘童話集」

学習展開	ICT使用手順・留意事項
<p>1 代表児童が自分のおすすめの本を紹介する。</p> <p>2 聞いていた児童が簡単な質問をする。</p>  <p>3 各教室で読書をする。</p>  <p>4 読書記録を書く。</p> 	<p>○ 代表児童に自分のおすすめの本を紹介させる。</p> <p>○ 日本語教室①と②をつなぎ、代表児童の発表を聞かせる。</p> <p>○ 紹介された本の中の言葉をそれぞれの国の言葉で表現させ、発表を聞いて聞きたいことを質問させる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>活用ポイント Zoom 「<u>オンラインミーティング</u>」</p> <p>離れた場所にいる児童と質問や応答のやり取りを通して交流を図る。</p> </div> <p>○ 自分の読みたい本を選ばせる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>活用ポイント <u>デジタル絵本視聴サイト</u></p> <p>各自の日本語力に合わせた本を選ばせたり、各自のスピードで読ませたりする。日本語を読むことが難しい児童には、音声付きの絵本を聞き読みさせる。</p> <p>『絵本のひろば』 https://ehon.alphapolis.co.jp/</p> <p>『福娘童話集』 http://hukumusume.com/douwa/index.html</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>活用ポイント Zoom 「<u>オンラインミーティング</u>」</p> <p>絵本の中の言葉が分からないときや、自分の感想を日本語でまとめるときに、通訳ボランティアに支援してもらう。</p> </div>
<p>成果と課題</p> <p>○音声がするように工夫した PowerPoint は児童の読書意欲を向上させ、有効であった。</p> <p>▲インターネットに同時接続するとつながりにくくなる。また、児童のレベルに合わせた読みたい本をすぐに検索できるように配慮する方が望ましい。</p>	

日本語指導教室【慣れる】	モンゴルのおよその面積を求めよう ～Meetで他校と授業交流～
タブレット使用形態：一人一台	第6学年 算数科 「およその面積」
【使用したアプリケーション】	Google 「Meet」

学習展開	ICT使用手順・留意事項
<p>1 自己紹介をする。</p>  <p>2 学習課題「モンゴルのおよその面積を求めよう」に取り組む。</p>   <p>3 振り返りをする。</p>	<p>活用ポイント Google「Meet」</p> <p>他校の同じ母語を話す児童とオンラインで学習することで、学習への意欲を高めるとともに母語と日本語をつなげて理解できるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 母語で自己紹介したり、指導者を紹介したりすることを通してオンラインに慣れさせる。 ○ 画像共有の画面を見ながら、モンゴルは、どんな図形に見えるか、どんな方法で求めればよいかなど、互いの意見を交流させる。その際には、母語と日本語の両方で言わせ、理解を深める。 ○ ワークシートを映したり、ホワイトボードにかいたりして自分の考えを説明させる。 ○ 日本語で分からない言葉は、母語にして伝えさせる。
<p>成果と課題</p> <p>○ 同じ母語を話す児童同士で学習することで、学習意欲が高まった。また、児童の母国であるモンゴルの面積を題材に取り上げたため、興味が持続し複雑な計算も最後まで取り組むことができた。</p> <p>▲ 音声が聞き取りにくく、児童が母語で会話している時は、指導者はほとんど聞き取れなかった。また、何度も聞き返す場面があり、授業の流れが途切れることがあった。</p> <p>▲ 各自の既習の定着度を把握していなかったため、学習をスムーズに進めることが難しかった。</p>	

日本語指導教室【使う】	学習したことを使って問題を解こう ～デジタル教科書で自分に合わせて問題を解く～
タブレット使用形態：一人一台	第4学年 算数科 「計算のやくそくを調べよう」
【使用したアプリケーション】	デジタル教科書 「コンテンツ」「ほじゅうもんだい」「ヒント」

学習展開	ICT使用手順・留意事項
<p>1 デジコンから、「算数4学年（下）計算のきまりを調べよう」を選び、起動させる。</p> <p>2 自分のやりたい問題を選択して、各自のスピードで進める。</p>  <p>3 振り返りをする。</p>	<p>○ 教科書で学習している教科書のページを開かせる。</p> <p>○ 教室で学習した次の問題を選ばせ、計算させる。</p> <p>○ 計算はノートに書かせ、答えが出たら、答えボタンを押して答え合わせをする。</p> <p>○ 算数科の学習のポイントは、その都度、指導する。（式の書き方、新しい考え方 など）</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>活用ポイント <u>デジタル教科書「コンテンツ」</u></p> <p>自分のやりたい問題を開き、問題を解いたら各自で答え合わせを行わせるなど、自分のペースで学習を進めることができる。</p> </div> <p>○ 自分の考えは、必ずノートに記録させる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>活用ポイント <u>デジタル教科書「ほじゅうもんだい」「ヒント」</u></p> <p>学習の進度により「ほじゅうもんだい」に取り組みせたり、必要に応じてヒントを表示させたりすることで、一人一人に合った学習に取り組みさせることができる。</p> </div> <p>○ 今日一日の学習の内容を振り返らせる。</p>
<p>成果と課題</p> <p>○一緒に学習している友達に影響されず、自分のペースでじっくりと学習することができた。</p> <p>○ヒントを見ることができ、自分の考えを整理したり、深めたりすることができた。</p> <p>▲自分の考えをデジタル教科書上に残すことが難しかったため、タブレットとノートと併用する必要がある。</p>	

日本語指導教室【慣れる】	新しい友達に西条小を案内しよう ～カメラで写真撮影～
タブレット使用形態：グループ台	全学年 特別活動 「学校たんけん」
【使用したアプリケーション】	カメラ 「写真の撮影」

学習展開	ICT使用手順・留意事項
<p>1 自己紹介をする。</p> <p>2 グループごとに教室を回る。</p>   <p>3 尋ねた教室の名前を確認する。</p> <p>4 振り返りをする。</p>	<p>○ 新しく編入してきた児童を中心に同じ母語を話す児童をグループにする。</p> <p>○ 案内する教室を画像で提示する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>活用ポイント カメラ「写真の撮影」</p> <p>後で振り返れるように案内した教室の前で、グループ全員の写真を撮影させる。</p> </div> <p>○ 撮影してきた写真を見ながら、教室の名前を確認する。</p> <p>○ 写真を基に、その教室で出会った先生の名前や教室にあった物を交流し合う。</p> <p>○ 今日一日の学習の内容を振り返り、感想を発表させる。</p>

成果と課題

- 各教室で写真撮影を目的にしたので、その教室まで確実に行き、複数の教室を効率よく回ることができた。
- 日本語が話せない児童も、撮影してきた画像を基に振り返りをする事ができた。
- ▲撮影した画像を時間内に印刷することができず、在籍学級担任に活動内容をすぐに伝えることができなかった。

日本語指導教室【慣れる～使う】	母国語で絵本の読み聞かせをしよう ～PowerPointで録画・発表～	
タブレット使用形態：一人一台	全学年 国語科「本はともだち」	
【使用したアプリケーション】	PowerPoint	「スライドショーの記録」

学習展開	ICT使用手順・留意事項
<p>1 挿絵の写真を撮る。</p> 	<p>○ 自分の読む担当のページがはっきりと見えるように、画面いっぱいに映るよう撮影させる。</p>
<p>2 スライドショーを作成する。</p>	<p>○ アニメーション効果を付けさせるなど、聞き手を意識した工夫をさせる。</p>
<p>3 録画する。</p> 	<p>○ リハーサルをさせ、タイミングを確認させる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>活用ポイント PowerPoint「スライドショーの記録」 実際の動作を付けながら録画することができ、聞き手により具体的なイメージをもたせることができる。また、場面ごとに録画できるので納得いくまでやり直すことができる。</p> </div> <p>○ 後日、動画として出力し、校内放送で全校児童に発表することで、達成感をもたせる。</p>
<p>成果と課題</p> <p>○スライドショーの記録を使うことにより、発表者の動作や表情なども聞き手に伝わり、絵本の内容を伝えやすくなった。</p> <p>▲緊張してどうしても速く読んでしまう児童がいて、タイミングを確認させるための練習の時間が多く必要だった。</p>	